

第 21 回 新潟臨床精神薬理フォーラム

医療法人水明会佐潟荘 医局

令和元年5月7日、第21回 新潟臨床精神薬理フォーラム（場所：新潟グラ
ンドホテル、主催：大日本住友製薬株式会社）に参加しました。

一般講演は魚沼基幹病院 湯川尊行精神科部長による「統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化」でした。コンドロイチン硫酸鎖は代表的な硫酸化グリコサミノグリカン糖鎖の1つで、様々なコアタンパク質に共有結合したプロテオグリカンとして神経系を含む多くの組織の細胞表面や細胞外マトリックスに普遍的に存在します。統合失調症の分子病態との関連性と研究の将来展望を、非常に分かりやすく解説していただきました。

特別講演は福島県立医科大学 神経精神医学講座 三浦至准教授による「統合失調症薬物療法の現状と課題」でした。統合失調症薬物治療学の歴史をふまえて、副作用の出現を最初化する配慮がなされた抗精神病治療の現代的戦略を、ドーパミンやノルアドレナリン、セロトニンといった代表的な神経伝達物質の血中代謝産物の薬物治療バイオマーカーとしての役割についても言及しつつ、これまた分かりやすく講演いただきました。